

発注者用調査票の解説

■共通費実態調査にあたって

本調査は、受注者による営繕工事の実施状況を費用の面から把握することにより、営繕工事における工事費積算に用いる「公共建築工事共通費積算基準」のより一層の適正化をはかるため実施するものです。

調査は、共通仮設費及び現場管理費の実態を調査するもので、調査の分析結果を基に「公共建築工事共通費積算基準」の改定を行うこととしております。

入力していただいた調査票は、調査の目的以外には使用することはありません。

■使用する調査票について

- ・新築又は増築工事・・・新営工事用
- ・改修工事・・・・・・・・改修工事用

※新築又は増築工事に既存棟の改修が含まれる場合、新営（新築）工事用の調査票に入力をお願いします。

※新築、増築、改修工事にとりこわし工事が含まれている場合は、主体となる工事の調査票をご使用ください。

■入力及び提出時の注意事項

工期・契約金額等の再確認をお願いします。また、受注者調査票もご確認いただき、発注者用と受注用が整合していることをご確認いただきますようお願いいたします。

また、提出された受注者調査票について、工事種別、新営工事用と改修工事用の取り違いがないことをご確認いただきますようお願いいたします。

※調査要領をご確認いただき、本解説及び入力例も参考に調査票の記入をお願いいたします。

◆発注者入力用の調査票

発注者入力用の調査票の種類及びファイル形式は、エクセルを用いて建築工事系と設備工事系、更に新営（新築）工事用と改修工事用に分類した4種類のファイルで作成しています。

入力に先立ち、シート名「実態調査票」に本アンケート調査の目的や入力にあたっての留意事項等が記載されていますのでご確認ください。

主たる工事が建築の新築工事、増築工事の場合は、ファイル名「共通費実態調査票（発注者：新営建築）」に、改修工事の場合は、ファイル名「共通費実態調査票（発注者：改修建築）」に入力してください。

主たる工事が電気設備工事、機械設備工事及び昇降機設備（エレベーター）工事の新築工事及び増築工事の場合は、ファイル名「共通費実態調査票（発注者：新営設備）」に、改修工事の場合は、ファイル名「共通費実態調査票（発注者：改修設備）」に入力しますが、シート名「調査票(1期主)」の1行目D列からI列間において工事の工種（電気設備工事、機械設備工事及び昇降機設備の別）をプルダウンメニューから選択してください。選択することにより選択した工種専用の調査項目になります。

シート名：調査票(1期主)

この調査票は「D列1行」設備の工種を選択してください。▼調査票です。

01 工事全般に関する事項 (1/1)

1. 当該工事の情報

「電気設備新営工事」
「機械設備新営工事」
「昇降機設備新営工事」
「D列1行」設備の工種を選択してください。

1ページ

各種データは「橙色に着色されたセル」に入力します。入力すると着色部分が無色に変化しますので、入力項目に該当するデータが無い場合は「0」を入力し橙色に着色されたセルがなくなるよう入力をしてください。

シート名：調査票(1期主)から調査票(3期従)共通

1. 当該工事の情報

項目	入力欄	
① 発注機関名	発注者の機関名を選択します。	
	発注者の部署名を入力します。	

↓

1. 当該工事の情報

項目	入力欄	
① 発注機関名	発注者の機関名を選択します。	07：国土交通省
	発注者の部署名を入力します。	

入力した情報の間に不整合がなく入力が完了した場合、各調査票の3行目N列、92行目N列及び118行目N列のメッセージが変わりますのでご確認ください。

シート名：調査票(1期主)から調査票(3期従)共通

(例1)「調査票1期主」の入力開始時点

入力する場所は、左記セルの色がついた部分です。

本シートの入力をお願いします。

(例2)「調査票1期主」の入力完了し従工事が有る場合

入力する場所は、左記セルの色がついた部分です。

本シートの入力が完了しました。引き続きシート名「調査票(1期1従)」の入力をお願いします。

(例3)「調査票1期主」の入力完了し2期工事が有る場合

入力する場所は、左記セルの色がついた部分です。

本シートの入力が完了しました。引き続きシート名「調査票(2期主)」の入力をお願いします。

(例4) 全ての入力完了した場合

入力する場所は、左記セルの色がついた部分です。

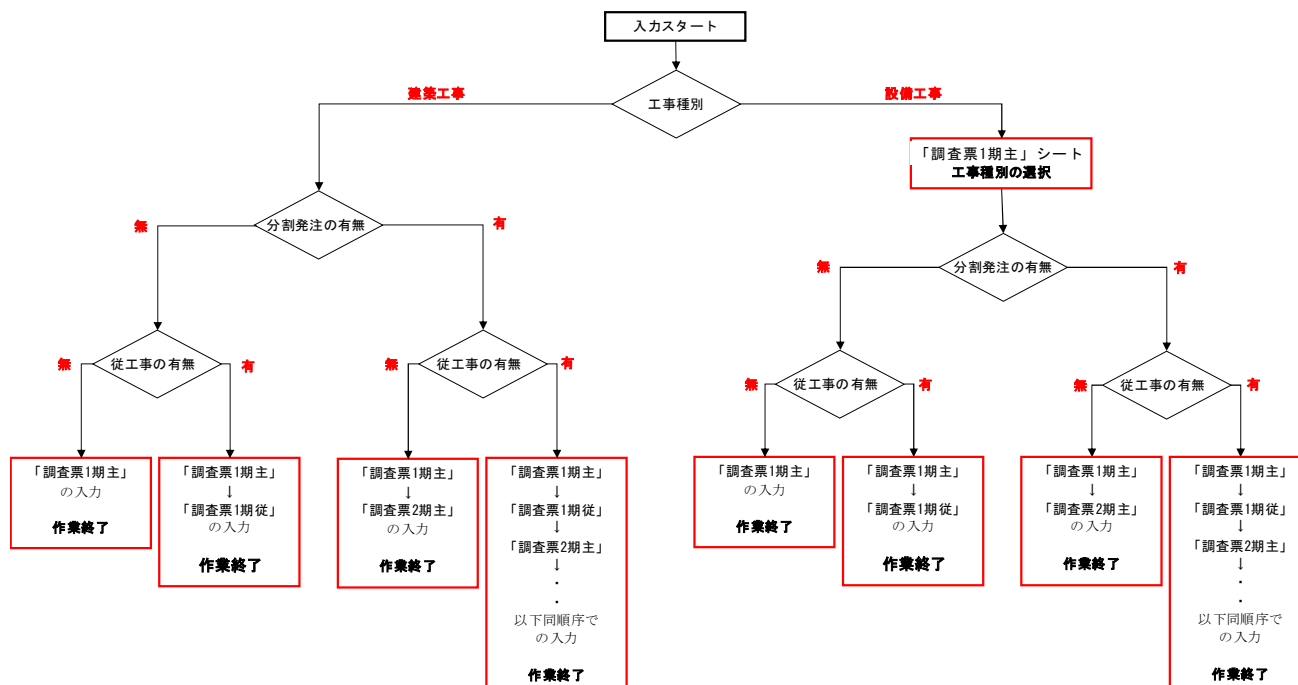
本シートの入力が完了しました。アンケート調査にご協力ありがとうございました。

なお、1期工事に従工事が3か所ある場合等は、シート名「調査票(1期1従)」をシートコピーにより「調査票(1期3従)」や「調査票(4期従)」の入力シートを作成することが可能です。

(1) 作業の手順等

調査票の入力手順は、シート名「調査票1期主」から始めます。

全体の作業手順は以下のフロー図のようになります。



なお、1期、2期工事とは、一つの建物等の工事（新築及び改修工事）を「躯体と仕上げ」等と一つの工事目的物を分離分割し発注した場合のことで、最初に発注した工事を「1期」とし、その後発注した工事の順番に「2期」「3期」と扱います。

また、従工事とは、異なる敷地にあるそれぞれの建物の工事（新築及び改修工事）等を、一つの工事

として発注した場のことで、工事名称等に用いた施設を「主」とし、その他の施設を「従」として扱います。

(2) 01 工事全般に関する事項

1. 当該工事の情報

- ① 発注機関名 : プルダウンメニューから選択します。
部署名→ : 工事発注者が所属している部署名を入力します。
- ② 工事名称 : 契約書記載の工事名称を入力します。また「**工事を分割発注**」している場合の有無をプルダウンメニューから選択します。「有」を選択した場合「調査票(2期主)」が入力対象になります。
- ③ 工事場所 : 都道府県名をプルダウンメニューから選択します。また「**複数の施工場所**」の有無をプルダウンメニューから選択します。「有」を選択した場合「調査票(1期従)」が入力対象になります。なお、「調査票(1期主)」と同じ内容項目は自動入力されます。
- ④ 週休2日促進工事 : **週休2日の実施有無**をプルダウンメニューから選択します。「無」を選択した場合、「週休2日の適用方式」選択入力欄が無色(入力不要)になります。
なお、「国土交通省の通達方式」の通達とは「営繕工事における週休2日促進工事の実施について(改定)」令和7年3月25日付け(国営計第170号)です。
- ⑤ 当初予定価格等 : 当該工事発注時の予定価格(設計価格)を税抜き価格で入力します。「当初落札価格」及び「最終契約額」も税抜き価格で入力します。
- ⑥ 数量公開の方式 : 工事の発注時に発注者数量(金抜き内訳書等)の公開方式をプルダウンメニューから選択します。
- ⑦ 予定価格公開の方式 : 予定価格(設計価格)の公開方式をプルダウンメニューから選択します。
- ⑧ 前払金 : 前払金(中間前払いを除く)の割合を整数として入力します。前払いが40%の場合は「40」と入力し、無い場合は「0」を入力します。
- ⑨ 受注者名 : 契約書記載の受注者の法人名を入力します。代表者名は不要です。
- ⑩ 工期 : 当初契約時の工期期首及び工期末を入力します。余裕工期等の場合は実工期を入力します。契約工期に変更があった場合は「最終 工期末」に最終の工期末を入力しますが、**無い場合は、「同上」**を入力します。
- ⑪ 工事中止 : 工事中止(工事の一部一時中止は含まない)の有無をプルダウンメニューから選択します。「有」を選択した場合は、中止期間の「始期」と「終期」を入力しますが、無い場合は、入力箇所「始期」と「終期」が無色になります。
- ⑫ 建物概要 : 新築工事の場合は新築した建物情報のみ、改修工事の場合は改修した建物情報のみについて、それぞれ建物種別及び構造種別をプルダウンメニューから選択し、延べ面積、地上階数(階)、地下階数を入力します。
なお、7棟まで建物情報を入力することができますが、7棟ない場合は、入力した建物情報の「建物種別」直下で「以下なし」を選択してください。以下の入力箇所が無色に変化します。
なお、入力した建物情報の建物数に応じて、「1. 科目別工事費」の入力すべき箇

所が着色されますので、科目別金額をそれぞれ入力してください。

シート名：調査票(1期主)例

	建物種別	延べ面積㎡	構造種別	地上階数	地下階数
建物1	01:庁舎等	500.00	01:RC造	2	0
建物2	10:倉庫等	20.00	03:S造	1	0
建物3	以下なし				
建物4					
建物5					
建物6					
建物7					

1. 科目別工事費

2. 科目別工事費

⑤ 主要建物 建物1～建物3	建物1	建物2	建物3
1. 直接仮設			
2. 土工			
3. 地業			
4. 鉄筋			
5. コンクリート			
6. 型枠			
7. 鉄骨			
8. 既製コンクリート			

また、2期工事がある場合は「調査票(2期主)」へ自動入力されます。このため、建物2が「調査票(1期主)」で完成している場合は、建物2の入力該当箇所に全て「0」を入力してください。また、「調査票(2期主)」で新たに建物が追加される場合には、建物概要の「以下なし」部分に新たな建物情報を入力し、「以下なし」を改めて入力してください。

(3) 02 工事価格等に関する事項

1. 種目別工事費

- ① 共通仮設費 : 従工事が有る場合は、原則として主工事と従工事それぞれに共通仮設費の額を入力しますが、分割が困難な場合は、主工事に全額を入力し従工事は「0」とします。なお、「② 現場管理費」及び「③ 一般管理費等」も同様です。
- ⑤ 主要建物 建物1～建物7 : 2.科目別工事費の入力が完了することにより自動的に入力されますのでこの場所での入力不要です。
- ⑥ 附属建物 : 渡り廊下や自転車置き場等の合計金額を入力します。
- ⑪ ①～⑩以外の工事の合計額 : 事前に用意した種目以外の種目がある場合にその合計額を入力します。無い場合は「0」を入力します。
- ⑫ 既存建物改修工事 : 新築工事に改修工事が含まれている場合、その合計額を入力します。
- ⑬ 発生材処理 : 前記改修工事に関する発生材処理の合計額を入力します。

※ このページでは、1. 種目別工事費と 2. 科目別工事費の両方の入力完了していない場合は、「色の付いたセルの入力をお願いします」と注意喚起が表示されます。

シート名：調査票(1期主)各シート共通注意喚起表示の例

1. 種目別工事費

工事価格		NG 色の付いたセルの入力をお願いします。
① 共通仮設費	1,000,000 円	
② 現場管理費	5,000,000 円	
③ 一般管理費等	5,000,000 円	
④ 各種負担金	0 円	
⑤ 主要建物 建物1～建物7		
⑥ 付属建物	500,000 円	
⑦ 囲障工事	500,000 円	
⑧ 舗装工事	500,000 円	
⑨ 屋外排水工事	500,000 円	
⑩ 造園工事	500,000 円	
⑪ ⑤～⑩以外の工事の合計額	0 円	
⑫ 既存建物改修工事	0 円	
⑬ 発生材処理	0 円	
⑭ 設備工事	0 円	
⑮ 取りこわし工事	0 円	
⑯ 発生材処理	0 円	

2. 科目別工事費

⑤ 主要建物 建物1～建物3	建物1	建物2	建物3
1. 直接仮設			
2. 土工			

(4) 設備工事調査票のみに関する事項

設備工事の調査票は、冒頭の説明にあるように、電気設備工事、機械設備工事及び昇降機設備工事の種別を選択しなければ入力箇所が表示されませんので必ずプルダウンメニューで選択してください。

それぞれの表示例を以下に示します。

選択していない場合の表示

1. 種目別工事費

[illegible]

2. 科目別工事費

⑤ 主要建物	建物1～建物3	建物1	建物2	建物3

電気設備を選択した場合

1. 種目別工事費

工事価格		
① 共通仮設費		円
② 現場管理費		円
③ 一般管理費等		円
④ 各種負担金		円
⑤ 主要建物 建物1～建物7		
⑥ 付属建物電気設備		円
⑦ 構内配電路設備		円
⑧ 構内通信路設備		円
⑨ T V 電波障害防除設備		円
⑩ ⑤～⑨以外の外構工事合計額		円
⑪ 既存建物電気設備改修		円
⑫ 発生材処理		円
⑬ 他工種の合計額		円
⑭ 取りこわし工事		円
⑮ 発生材処理		円

2. 科目別工事費

⑤ 主要建物	建物1～建物3	建物1	建物2	建物3
1.電灯設備				
2.動力設備				
3.電気自動車用充電設備				
4.電熱設備				

機械設備を選択した場合

1. 種目別工事費

工事価格		
① 共通仮設費		円
② 現場管理費		円
③ 一般管理費等		円
④ 各種負担金		円
⑤ 主要建物 建物1～建物7		
⑥ 付属建物機械設備		円
⑦ 給水設備		円
⑧ 排水設備		円
⑨ ガス設備		円
⑩ 浄化槽設備		円
⑪ ⑤～⑩以外の外構工事合計額		円
⑫ 既存建物機械設備改修		円
⑬ 撤去工事		円
⑭ 発生材処理		円
⑮ 他工種の合計額		円
⑯ 取りこわし工事		円
⑰ 発生材処理		円

2. 科目別工事費

⑤ 主要建物 建物1～建物3	建物1	建物2	建物3
1.空気調和設備			
2.換気設備			
3.排煙設備			
4.自動制御設備			
5.衛生器具設備			

昇降機設備を選択した場合

1. 種目別工事費

工事価格		
① 共通仮設費		円
② 現場管理費		円
③ 一般管理費等		円
④ 各種負担金		円
⑤ 主要建物 建物1～建物7		
⑥ 既存建物昇降機設備改修		円
⑦ 撤去工事		円
⑧ 発生材処理		円
⑨ 他工種の合計額		円
⑩ 取りこわし工事		円
⑪ 発生材処理		円

2. 科目別工事費

⑤ 主要建物 建物1～建物3	建物1	建物2	建物3
1.エレベーター設備			
2.小荷物専用昇降機設備			
3.エスカレーター設備			